



種 目 : 沢登り
山 域 : 兵庫県
場 所 : 扇ノ山・
岸田川支流
岩井谷



扇ノ山・岸田川 岩井谷溯行

2004.8月10日

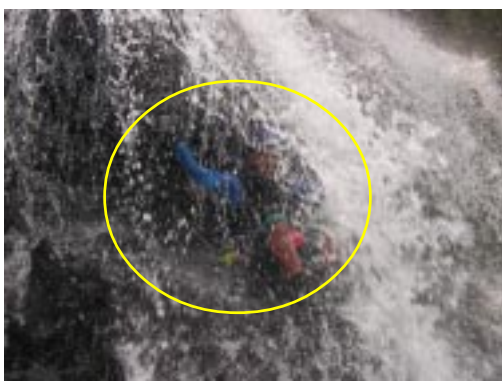


日 時 : 04.08.10
コ ー ス : 肥前畑分岐 -
入溪 -
高度 840m -
林道 - 肥前畑分岐
メンバー : 石野・横小路・
大塚・大本・恵





果敢に攻める



滝裏へ入り込む

遡行の始めは扇ノ山の沢独特のコケむした平谷でしばらく遡行すると6mの滝が現れる。左側が順層になっているので迷わず直登する。

またしばらく遡行するとだんだんと連爆帯(5×8×12)になってきてワクワクしてくる。ここでは昨年溯行している大本や石野氏に右や左から登ってもらいロープの世話になりながら2番手に恵が登り、上でビレーの練習にはいる。私はビデオ片手にみんなをファインダーに納めて登らせてもらう。

それを過ぎると見上げるほどの40mの大滝

が左側に出現するではないか、これは圧巻ものでしばし見とれてしまうその周りにはものすごい勢いの風圧で水蒸気が空気中に浮遊している、これがマイナスイオンなのか?、その周辺の草木はそのせいで生き生きと育っているように思える。しかしハ



見上げる40mの大滝



コンティニアスで登る

ングなのでとても登れる代物ではない。石野氏は昨年は滝の右のルンゼを登って巻いたと言っていたが、今回はより安全をとってまだその右の草付きを登って巻いて滝の上部へ懸垂下降で降り立つ。そこからはまだ10×4の連爆であるが、これは楽しんで登らせてもらった。

一息つく間もなく次に4m斜漠、続いてまたまた3段4×6×12の3連漠。最後の12mの滝ではハングの中に入り込み大本に写真を撮ってもらおう。ここは右岸から巻いた石野氏にロープを出してもらい恵のビレーで登らせてもらうのだが、ホールドを外してずり落ちる・・・「こら～もっとロープ張っといてんか-、一体どこまで落とすねん?」。面白いところはここまでで少し溯行して右側の草付きをはい上がって林道へ出る。扇ノ山から北に延びる大ズッコ、小ズッコの稜線を眺めながら肥前畑分岐に駐車した車に戻る。



入溪場所